



箱根ジオパークとは

Hakone Geopark

ジオパークとは地球活動の遺産を主な見どころとする自然の中の公園です。ユネスコの支援により設立された世界ジオパークネットワークにより、世界各国で推進されています。箱根火山は、世界的に見てもたいへん有名な火山です。豊かな自然と密接した歴史があることから、まさにジオパークに相応しい地域と言えます。

この地域は、伊豆・小笠原弧が本州弧に衝突したプレートの境界域に位置することと、その中心である箱根火山が、南北にのびる天然の障壁をなしていることです。箱根火山は、その北に連なる足柄山地・丹沢山地をはじめとする*フォッサマグナ地域と、その南に連なる伊豆半島から伊豆・小笠原諸島の自然をつなぐみにち位置します。



北と南をつなぐ自然のみち

東と西をつなぐ歴史のみち



日本の歴史を形作ってきた足柄道や東海道は、東西を結ぶ大動脈です。そして、戦国時代の小田原城や石垣山一夜城、中世から始まり江戸時代に隆盛を迎えた石材採掘、江戸時代の箱根関所跡などは、かつてあった東西の摩擦や緊張を今に伝えています。まさに本地域は、古代からの日本の東と西の文化をつなぐ歴史のみちに位置するのです。

*日本の主要な地溝帯の一つで、地質学においては東北日本と西南日本の境目となる地帯。

箱根ジオパークを歩こう

真鶴の地質、生物、歴史を満喫するコース

- 03 コース案内
- 04 箱根火山の自然と歴史のあゆみ
- 06 コースマップ
- 08 真鶴半島の成り立ち
- 09 真鶴の石材業
- 10 しとどの窟(真鶴)／貴船神社
- 11 お林(魚付き林と漁礁)
- 12 真鶴半島採石場跡／三ツ石海岸
- 13 真鶴町立遠藤貝類博物館
岩地区／如来寺跡
- 14 真鶴町民俗資料館／五層塔・宝篋印塔
大ケ窪海岸／真鶴町の最高地点へ
- 15 真鶴立ち寄りジオスポット



ぶらっと箱根ジオパーク



コース案内

溶岩がもたらす真鶴の恵みと歴史を満喫

真鶴の地形は箱根火山のカルデラ形成と時を同じくして、23万年～15万年ほど前にかけて、この地域で噴出した溶岩が連なって形成されたと考えられています。真鶴を構成するこれらの溶岩は大きく岩溶岩類、白礫溶岩類、本小松溶岩類、真鶴溶岩類です(P8 地質図参照)。その中でも本小松溶岩類が分布する岩地区では、ここ真鶴でしか採れない本小松石の採石が古くから行われています。真鶴の石材業は漁業と並んで古くから町を発展させてきました。

このコースでは、こうした真鶴に欠かせない恵みである石材業の歴史を、建造物や採石跡でたどりながら、真鶴の地形や地質、人々が守り続けてきた自然をご紹介します。

ゆっくりと歩くもよし、バス、タクシーなどを使って楽々移動もよし、7.05km²というコンパクトな町に、ギュッと詰まったジオの魅力をお楽しみください。



南郷山からのパノラマ



幕山の梅林と柱状節理



三ツ石海岸



千条の滝



番場浦海岸の採石跡



箱根関所

箱根火山の自然と歴史のあゆみ

400万年前頃	40・35万年前頃	35・27万年前頃	27・23万年前頃	23・13万年前頃	13・8万年前頃	6.6万年前頃	6万年前頃	4万年前頃	5500年前頃	3000年前頃	2900年前頃	2000年前頃	757年(天平宝字元年)	889年(寛平元年)	1180年(治承4年)	1300年(正安2年)	1417年(応永24年)	1496年(明応5年)~1504年(永正元年頃)	1590年(天正18年)	1600年代初頭	1619年(元和5年)	1680年(延宝8年)	1802年(享和2年)	1868年(明治元年)	1883年(明治16年)	1887年(明治20年)	1888年(明治21年)	1896年(明治29年)	1900年(明治33年)	1901年(明治34年)	1904年(明治37年)	1923年(大正12年)	1930年(昭和5年)	1950年代~	2014年	2014年	2015年	2016年
---------	-----------	-----------	-----------	-----------	----------	---------	-------	-------	---------	---------	---------	---------	--------------	------------	-------------	-------------	--------------	--------------------------	--------------	----------	-------------	-------------	-------------	-------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	-------------	---------	-------	-------	-------	-------

南足柄市が箱根ジオパークに編入
大涌谷で小規模な水蒸気噴火
箱根ジオミュージアム開館
箱根ジオパーク誕生

● 県天然記念物1979年指定
ウメボシインソギンチャク・サンゴインソギンチャク
北伊豆地震 箱根離宮全壊
関東大震災
宮ノ下〜芦之湯〜箱根町間 車道開通
滝廉太郎「箱根の山」(原題箱根八里) を作曲発表
国府津〜箱根湯本間に電車開通(小田原電気鉄道)
● 早川〜熱海間に人車鉄道開通
国府津〜箱根湯本間に馬車鉄道開通
新橋〜国府津間鉄道開通
ドイツ人医師ベルツ、大涌谷に温泉治療所の建設を提案
塔之沢〜宮ノ下間車道開通
小涌谷温泉誕生

● 貴船大明神から貴船神社に改称
荻窪用水完成
東海道「箱根八里」に石畳が敷かれる
箱根関所開設
早川石丁場群で採石

大久保忠世、小田原城主となる
豊臣秀吉、小田原攻め 石垣山一夜築城
北条早雲、小田原攻め 小田原城を支配下に置く
大森氏が小田原周辺を領地とする
精進池畔の磨崖仏・六道地蔵の開眼供養
● 源頼朝、石橋山の合戦で敗れる
● 貴船神社(当時は貴宮大明神) 創建
箱根神社創建
神山水蒸気爆発
箱根火山最後の大規模噴火、冠ヶ岳の形成
神山山体崩壊、芦ノ湖誕生
羽根尾貝塚の形成
後期中央火口丘の形成と仙石原湖誕生
先神山の形成
東京軽石をもたらした爆発的噴火
鷹巣山溶岩、屏風山溶岩などの前期中央火口丘の形成
● カルデラと外輪山の形成、大規模噴火と真鶴溶岩、幕山溶岩などの噴出
明神ヶ岳、米神溶岩などの箱根成層火山群、独立単成火山群の形成
金時山、明星ヶ岳などの箱根成層火山群の形成
箱根火山の活動のはじまり(天昭山溶岩、畑宿溶岩など)
箱根火山の基盤岩(早川凝灰角礫岩)の形成



ウメボシインソギンチャク



早川石丁場群

● 印はこのガイドブックのコースで見ることができます



カツラゴ海岸の真鶴溶岩



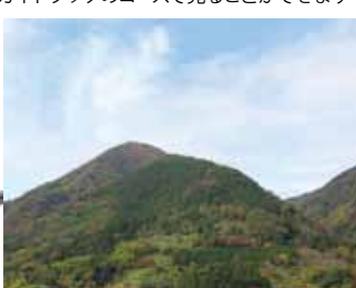
夕日の滝



湯河原火山噴出物がつくる不動滝



小田原城



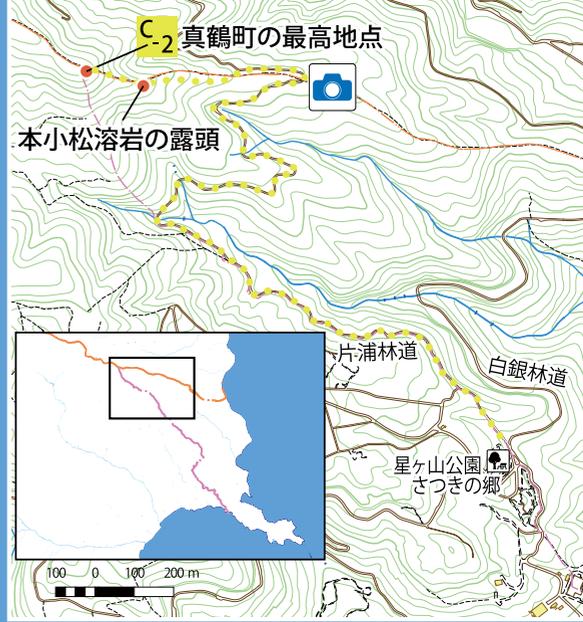
矢倉岳



須雲川の平行岩脈群



- Aコース
- Bコース
- Cコース
- バス停
- ビューポイント



岩沢川
真鶴町の最高地点

B-4 五層塔・宝篋印塔(瀧門寺)

B-2 如来寺跡

岩地区

B-1 岩海岸

B-3 真鶴町民俗資料館

国道740号小田原湯河原線

国道135号線(真鶴道路)

岩IC

真鶴駅

真鶴

荒井城跡

福浦

子之神社

福浦カッラゴ海岸(湯河原ジオサイト)

福浦IC

自泉院

鯖大師

里海BASE(真鶴町観光協会)

遊覧船乗り場

しとどの窟

真鶴魚座

貴船神社

C-1 大ヶ窪海岸

A-1

A-2

A-3

A-4

A-5

A-6

お林(魚付き林と漁礁)

三ツ石海岸

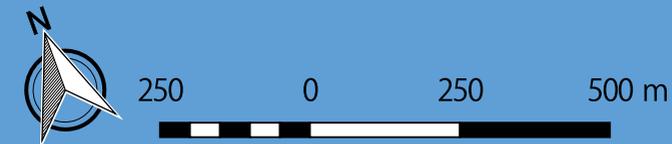
遠藤貝類博物館

真鶴半島採石場跡(番場浦海岸)

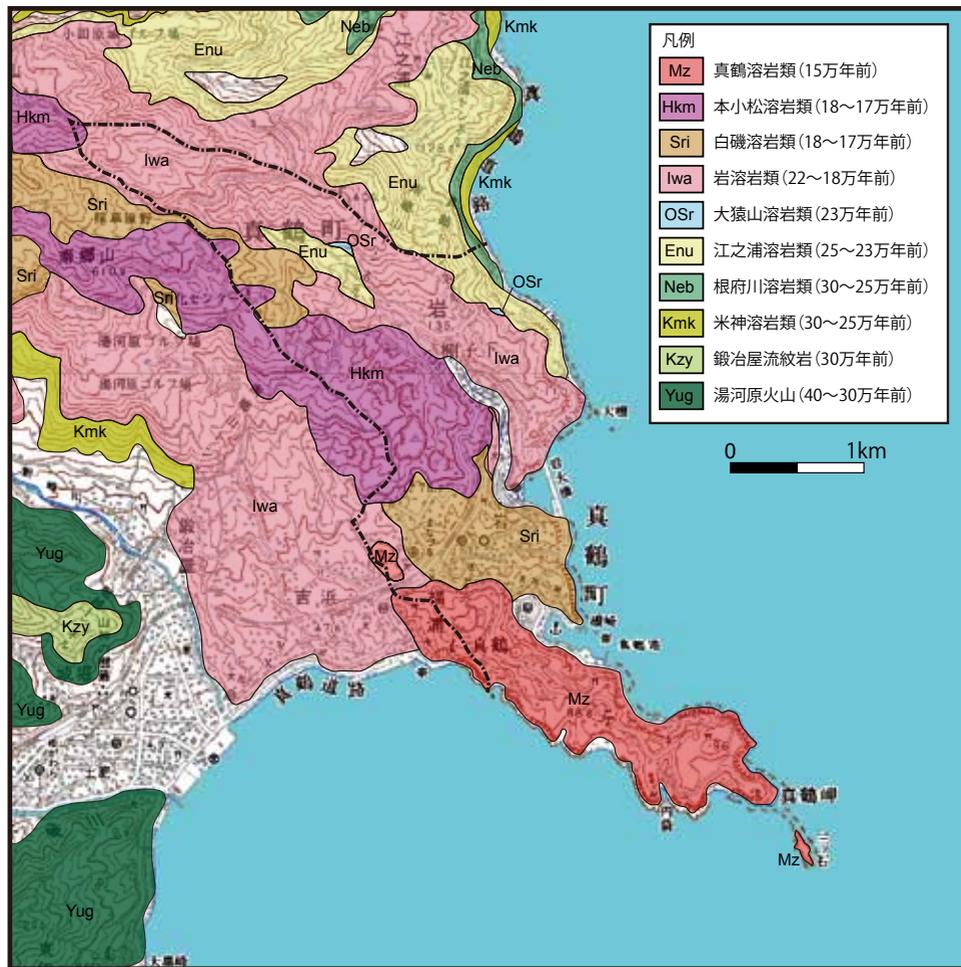
お林展望公園
パークゴルフ場

中川一政美術館

三ツ石(笠島)



1 真鶴半島の成り立ち — 噴火が生んだ起伏と恵み —



地質図は日本地質学会国立公園地質リーフレット編集委員会 (2007) を引用

箱根火山は約 40 万年前に活動を開始したと考えられています。外輪山となる複数の成層火山ができ (外輪山形成期)、カルデラが形成され (カルデラ形成期)、その中に複数の中央火口丘 (前期中央火口丘および後期中央火口丘形成期) ができて今日の姿となっています。

真鶴は外輪山形成期の噴出物 (米神溶岩類、根府川溶岩類、江之浦溶岩類) を土台にして、カルデラ形成期にこの地域で活動した単成火山 (一連の単発の活動で形成された小型の火山) より噴出した岩溶岩類、白磯溶岩類、本小松溶岩類、真鶴溶岩類からなります (地質図参照)。これら 4 つの溶岩類が尾根や高台をつくり、大きな谷地形はこれらの溶岩類の境界に形成されています。町の産業を支える真鶴港、岩漁港といった天然の良港も、こうした地形を利用したことがわかります。本小松溶岩類 (デイサイト~流紋岩) から採れる本小松石は、ここ真鶴でしか採れない良質な石材として知られています。また、真鶴半島は一枚の硬い安山岩質溶岩 (真鶴溶岩類の真鶴岬溶岩) であることから、波の侵食を受けにくく安定しており、多くの生物が集まって豊かで美しい海を創り上げています。



写真: 空から見た真鶴半島

2 真鶴の石材業 — 真鶴の生活に息づく「小松石」 —

岐阜県の寺には 1200 年前の小松石製の墓石が発見されていることから、採石自体は奈良時代には始まっていたと思われます。北条一族の墓石や長谷の大仏の礎石など、鎌倉時代になると広く小松石が用いられました。



写真: 本小松石採石場

その後、各地の城の建設資材としての需要が高まる戦国時代から江戸時代初期にかけて、真鶴の石材業は一層発展しました。石を輸送するのに都合の良い海辺という立地も、大きな助けとなり、江戸城の石垣は約 9 割が真鶴の石材を使用しているとも言われています。また、こうした資材としてだけでなく、現在では優れた技術で加工され、高品質の墓石や建築物としても用いられています。町の各所にたたく石造物は石材業の歴史を私たちに伝えています。

ジオ旅のはじまり
JR 東日本 真鶴駅

バス 約10分
魚市場 下車
徒歩 約1分

大正関東地震前のしとどの窟



徒歩 約5分
貴船神社



お林（魚付き林と漁礁）へ

A-1 ^{いわや}しとどの窟
— 頼朝が身を隠した海食洞 —

真鶴港からしとどの窟、貴船神社に向かうバス道路は埋め立て地にあります。1180年、石橋山の合戦で敗れた源頼朝が、この窟に身を隠して安房国へ脱出したと言われていました。真鶴岬溶岩に形成された海食洞で、奥行きが130mあったそうです。地震による土地の隆起や、第二次世界大戦時の建設用採石などを経て、現在の状態になりました。

A-2 貴船神社
— 石造物の宝庫 —

貴船神社は浜に漂着した古仏像を祀り上げ、この地に幸福をもたらすために興されたと伝えられており、漁や石材回漕を^{かいそう なりわい}生業とする真鶴の人々にとって、海の安全の守り神ともされています。境内では本小松石の石段や石造物を多数見る事が出来ます。毎年7月27・28日に海上の安全祈願のために行われる「貴船祭り」は国の重要無形民俗文化財にも指定されている華かな船祭りです。

● 里海 BASE   ちよっと寄り道
真鶴港の入口にあるこの里海 BASE では、海産物や農産物などの地場製品の販売や観光案内所があります。

開館時間 9:00 ~ 16:00
開館日 年中無休
電話 0465-46-9274



記号案内  案内板  ビューポイント  食事  お手洗い

● ^{さかなざ}真鶴魚座   ちよっと寄り道
魚市場の2階にある真鶴魚座では、港を眺めながら地魚料理などを楽しむことができます。



開館時間 10:00 ~ 15:00
休館日 なし
電話 0465-68-6511

A-3 ^{はやし うおつ りん きょしょう}お林（魚付き林と漁礁）
— 300年以上守り続けてきた真鶴の宝 —

真鶴半島先端にあるこの照葉樹林は、クロマツやクスノキの巨木が生い茂り、県の天然記念物に指定されています。江戸時代の中頃、小田原藩の命で15万本のクロマツを植樹したことから始まり、その後、明治時代には御料林となり、町に払い下げられた後も魚を呼ぶ森として町民によって大切に守られてきました。開発されずに守られたこの森や周辺の磯では数多くの動植物が絶えることなく育まれており、遊歩道を歩けば、美しい緑とさわやかな森の香りを楽しむことができます。

解説 ^{うおつ りん}魚付き林とは…海に樹影を落として魚介類の隠れ場になるなど、魚を寄せる効果があるとされる森林です。

● 真鶴町立中川一政美術館   ちよっと寄り道
真鶴町にアトリエを構え、多くの作品を生み出しました。ジオサイト「駒ヶ岳」の絵を是非ご覧ください。



開館時間 9:30 ~ 16:30 (入館は16:00まで)
休館日 水曜日
電話 0465-68-1128

 ^{お林}お林
バス 約5分
中川一政美術館 下車




徒歩 約15分
真鶴半島採石場跡へ

真鶴半島採石場跡(番場浦海岸)



ぎょうかいがい
凝灰岩の採石場の
ようだね



この大きな丸い穴は
おつけつ
罅穴といえます



矢穴
海岸の岩が
平らだなあ！?
矢穴を探してみよう



徒歩
約15分
三ツ石海岸
初日の出の名所
としても有名だよ!
写真は番場浦海岸からの眺め



大正関東地震前まで
海の中でくらしていた
貝の穴だよ

A-4 真鶴半島採石場跡(番場浦海岸)
— 採石が真鶴の地形を変えた? —



真鶴の海岸の岩には横一列に並ぶ小さな穴があります。この穴は何でしょうか?これは石を切り出すためにあけたもので「^{やあな}矢穴」といいます。

同じ真鶴岬溶岩でも場所によって岩質が異なり、緻密で硬い部分には矢穴が顕著に見られ、比較的軟らかい岩質の海岸西側では、四角い板状に石を切り取った跡があります。海岸線の波食台や海食崖のように見える部分にも、採石の跡がたくさんあります。採石を行う前の真鶴半島の形は、ひよっとしたら今と大きく違っていたのかもしれない。

A-5 三ツ石海岸
— 真鶴岬溶岩がつくる景勝地 —



三ツ石の特異な形は、真鶴岬溶岩がおもに波の侵食を受けてできたものと思われる。大正関東地震で隆起したせん孔貝の穴の跡が見られます。赤っぽい色をした部分は、溶岩が熱い時に、空気に触れて鉄分が酸化してついた色です。

実験で焼き
赤く酸化した溶岩
割って下の方を
焼きました



黒潮の影響、生物が定着しやすい硬い溶岩の磯、と良い条件のそろっている三ツ石海岸は、県の天然記念物のウメボシソギンチャクを始め、多くの生物を観察できる場所です。

また三ツ石海岸では溶岩の上に白い軽石の層が見られる場所があります。これは真鶴軽石という

徒歩
約20分
遠藤貝類博物館へ

約13万年前の箱根火山カルデラ形成期末期の噴出物で、真鶴半島を数mの厚さで覆っています。かつてはコンクリートブロックの材料として採掘されました。

A-6 真鶴町立遠藤貝類博物館
— 魅力的な貝の世界へ —



長年にわたり貝類の収集、研究活動を行っていた故遠藤晴雄氏のコレクションの寄贈によって開館した博物館は、真鶴、相模湾、世界の希少な貝など、国内有数のコレクション数を誇る博物館です。箱根ジオパークの拠点施設でもあり、入り口ではジオパークの情報を見ることもできます。

B-1 岩地区
— 随所に散らばる小松石 —



地区全体がジオサイトになっている岩地区は、南側に白磯溶岩類からなる平坦な台地(平台)、北側に岩溶岩類の山があり、両者の間の低地には、港や集落が形成されています。背後の本小松溶岩類の山では、本小松石の採石を行っています。海岸には溶岩の割れ目(節理)や縞模様(流理)が観察できる崖があり、地区のあちこちでは歴史ある石造物を見ることが出来ます。

B-2 如来寺跡
— 噴火の荒々しさを感じる洞窟 —



本小松石で造られた石像が安置されている如来寺跡の洞窟は、岩溶岩の噴石丘(火砕丘)をくりぬいて造られた洞窟で、赤く酸化した火砕物を内部から見る事ができる珍しい場所です。



ウメボシソギンチャク



潮が引いている時
潮が満ちている時



真鶴軽石の地層
真鶴軽石を
使ったブロック
軽石

真鶴駅から
徒歩約15分



岩海岸

徒歩
約10分



如来寺跡

五層塔・宝篋印塔へ

徒歩
約5分

五層塔



旧岩小学校
近くの湧水



岩地区を流れる岩沢川

岩沢川の水量が少ないのは、火山噴出物が水を通しやすいためと考えられます。一方でしみこんだ水が湧水となって湧き出る所もあります。

溶岩とそれを覆う火山灰層



最高地点付近からの眺め



最高地点は
山の頂より下にある



立ち寄りジョスポットへ

B-3 真鶴町民俗資料館
—真鶴の歴史がよくわかる—



真鶴の旧家、土屋家旧宅に真鶴の地場産業、石材・漁業関係資料を展示しており、詳しい解説を聞くことができます。

B-4 五層塔・宝篋印塔
—石材加工技術の極み—



一石から刻み出された五層塔や、本小松石より柔らかな新小松石（真鶴溶岩類）で細かな細工を施した宝篋印塔は、岩石工の技術の高さの証明です。これらは14世紀半ばに創建された瀧門寺にあります。

C-1 おおがくぼ 大ヶ窪海岸
—白礫溶岩類の多様な地層を見る—



真鶴港と岩漁港との間の海岸です。海岸へは真鶴港東側の丘の上にある鯖大師から下ります。露頭が点在し、白礫溶岩類の溶岩や火山灰の地層が見られます。海岸の岩には矢穴もあります。

板状節理の発達した溶岩



C-2 真鶴町の最高地点へ
—岩沢川源流部と地形観察—



湯河原さつきの郷から片浦林道を歩き、岩沢川上流を渡り小田原市との境界まで行きます。岩地区を流れる岩沢川は水無川とも呼ばれますが、源流部はかなり奥にあることがわかります。付近からは真鶴半島先端部、伊豆大島、初島などを見渡すことができ、真鶴半島の地形を一望できます。



真鶴の生い立ちについて遠藤貝類博物館で行った実験も見てください。
<http://nh.kanagawa-museum.jp/research/archives/kazan/index.html>

*休館日、連休日は各施設へお問い合わせ下さい

真鶴町立遠藤貝類博物館

開館時間 9:30 ~ 16:30
足柄下郡真鶴町真鶴 1175-1
電話 0465-68-2111
<https://www.endo-shellmuseum.jp/>



国内有数の
貝類コレクション!

※祭、イベントの開催は、
変更される場合があります。

マナツル
カレンダー

真鶴町民俗資料館

開館時間 10:00 ~ 15:00 (昼食時は閉館)
足柄下郡真鶴町岩 596
電話 0465-68-1147



展示解説も
あります!

真鶴半島遊覧船

1日7便運航(季節により変更有)
営業時間 9:00 ~ 17:00
足柄下郡真鶴町真鶴 1947-2
電話 0465-68-3255
<http://shouunan-cruise.jp/index.html>



ちいさな船旅
風わめ発見!



注意 海岸の崖では落石に注意しましょう。
津波に備え、海岸から丘に登る道を確認しましょう。

ガイドさんと
ジオ旅に
行こう!

- ✓ 時間が無くてもご安心
希望の時間、見たいものに合わせてご案内
- ✓ もっと知りたい!
真鶴の歴史・自然・文化についてガイドがご案内
- ✓ 多彩なウォーキングコース
森林内の遊歩道など真鶴はウォーキングに最適!



真鶴観光ボランティアガイド Tel 0465-68-2543 Fax 0465-68-2547
URL <http://www.manazuru.net/>

- 箱根・小田原・湯河原・南足柄ガイド
- 箱根観光ガイド協会 (箱根町観光協会内) Tel:0460 (85) 5443
 - 箱根ボランティア解説員連絡会 (箱根ビジターセンター) Tel:0460 (84) 9981
 - NPO 法人小田原ガイド協会 Tel:0465 (22) 8800
 - 湯河原まちづくりボランティア協会 (湯河原町役場内) Tel:0465 (63) 2111
 - 南足柄ジオガイドの会 (南足柄市役所内) Tel:0465 (73) 8001

- 1月 三ツ石初日の出
真船神社初詣
- 3月 しだれ桜の宴
- 5月 海のまち豊漁豊作祭
岩龍宮祭
- 7月 ちこ 岩兒子まつり
真船まつり(27日・28日)
- 8月 岩海岸夏祭り(第1土曜日)
海のまち豊漁豊作祭
盆踊り
マナ真鶴ハワイアンタバ
- 11月 海のまち豊漁豊作祭
真鶴龍宮祭



新島海岸の
ハート型の岩



海から眺めると
ジオの全てを理解
できる!?